

多彩な交流と活動の場の創出等に矛盾する。使用料の額を抑えて市民文化の向上に寄与するものとすべきである」との反対討論と、「国分寺Lホールの後継施設であるcocobunjiプラザの設置は、国分寺駅北口再開発ビルが完成し、国分寺市がさらによりよいまちに発展していくスタートの場面である」との賛成討論がありました。その後、採決を行った結果、賛成多数で本案を可決しました。

また、議案「平成29年度国分寺市一般会計補正予算(第4号)」に関しては、委員会同様、採決の結果、全員賛成で本案を可決しました。

**市民課サービスコーナー移設を  
全員賛成で可決**

議案「国分寺市出張所設置条例について」は、平成30年度に市民課の「国分寺駅北口サービスコーナー」を再開発ビルの中の公益フロアに、「光町サービスコーナー」を国立駅高架下に移設することを契機に出張所として改めて位置付け、窓口での取扱業務を拡充することで、市民サービスの向上を図るものです。国分寺駅北口再開発ビルの中に移設される出張所の名称は「cocobunji市民サービスコーナー」に、国立駅高架下に移設される出張所の名称は「国分寺市国立駅前市民サービスコーナー」になります。

総務委員会では、「休日の窓口開庁や平日の時間延長、取扱業務の増など市民にとってサービス拡大となるが、職員体制の対応は」との質疑に対し、「業務に支障が無いよう適切な人員

を配置し、事前研修など行う」との答弁がありました。さらに「国立市と共同使用する国立駅高架下のスペースについて、別途条例化が必要ではないか」「住民票の写しなどは今までどおり交付されるが、申請書で一度市役所に持ち帰り処理するものは、朝預ければ夕方もらえるなどの迅速な対応ができるのか」などの質疑に対し、「申請書等は基本的に1日1回担当部署に持ち帰るので、時間的なものについては今後調整する」との答弁がありました。また「出張所に提出された申請書等の事務処理に関し、文書管理規程上に不備があるのではないか」などの質疑があり、採決を行った結果、委員会及び本会議ともに、全員賛成で本案を可決しました。

**平成29年度一般会計補正予算(第5号)  
を全員賛成で可決**

議案「平成29年度国分寺市一般会計補正予算(第5号)」は、歳入歳出予算の総額504億3,548万5千円に、歳入歳出それぞれ3億5,017万3千円を追加し、総額を507億8,565万8千円とし、債務負担行為28件の追加と地方債8件の変更を行いたいというものです。

補正予算審査特別委員会では、「こくぶんじ青空ひろば事業は、対象となる公園の位置が市の中央部から西側に若干偏っていないか」「ごみ資源物収集運搬業務を委託するにあたり、安全管理面について市としてどのように業者に指導しているか」「まちづくりセンター委託料の減額補正は公募型協働事業として募集をかけて

も応募する団体がなかったことによるが、その要因はなにか」「増額となる保育士等キャリアアップ補助金の対象に非常勤の保育士も含まれているか」「来年度第七小学校に教室数不足が見込まれている。多目的ルームを普通教室に転換して2教室を確保するための修繕料が計上されているが、多目的ルームの使用状況は。支障が出ないのか」などの質疑がありました。

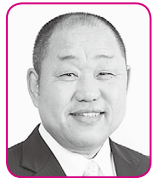
採決にあたり「保育士等キャリアアップ補助金の増額等は保育の質の向上に必要。また来年度第七小学校がクラス増となる可能性があることから普通教室確保のための予算が計上されているが、今後も遅れをとることなく対応を進めてほしい」といった賛成討論がありました。

本会議では、「第九及び第十小学校の教室棟建設に係る国の補助金交付決定、保育士等キャリアアップ補助金の増額、第七小学校の教室改修予算の確保など総合的に前向きな要素が多い。反面、まちづくりセンターの公募型協働事業への応募事業者がなかったことによる減額補正は、市民との協働まちづくりの後退を意味していることや、本町二丁目・四丁目臨時駐車場は国分寺駅北口地下駐車場整備後も一定期間存続すべきであり、問題等もあるが、全体的に判断し賛成する」との賛成討論がありました。その後、採決を行った結果、委員会及び本会議ともに、全員賛成で本案を可決しました。



**市政を問** **平成29年 第4回定例会 一般質問の質問事項・答弁の要旨**  
内容は各議員が一定のスペース内で自由にまとめたものを一般質問が行われた順番で掲載しています

**待機児童ゼロに向け  
幼稚園との連携を!!**



自民党新国会 吉田 りゅうじ

**▼待機児童数ゼロに向けた取り組み**

【問】待機児童数は平成27年度が88名、昨年度が102名、本年4月1日時点の数値は?

【答】本年4月1日時点の待機児童数は92名と減少したが、10月1日時点では151名と増えた。共働き家庭の増加が要因と考えている。

【問】総合ビジョンでは平成30年度で待機児童数ゼロを目標としており、平成27年度から500人の定員増が必要。取り組み内容は?

【答】ほぼ計画どおりの整備を進めており、平成27年度80人、28年度173人、29年度には318人(平成30年2月開所の76名を含む)の合計571人の定員拡充が図れた。

【問】待機ゼロに向けて保育園のみならず幼稚園にも協力して戴く、いわゆる幼保連携も重要なファクターであると考えているが、市としてどのようなアプローチをしているか?

【答】待機児童の解消に向けて幼稚園施設の活用は重要であるとの認識をもっており、預かり保育の拡充等について幼稚園と話し合いの機会を設けてきた。課題解決に向けたご意見などもいただいております、引き続き他自治体の取り組みも参考にしながら課題の解決に向けて検討する。

**▼都市計画道路国3・4・6号線の部分開放**

【問】府中街道西恋ヶ窪一丁目交差点の渋滞が激しくなってきた、熊野神社前交差点までの区

間だけでも先行整備し部分開放出来ないか?

【答】東京都に改めて確認したところ、暫定的な整備の可能性について前向きな回答を戴いている。市としては引き続き東京都に対して事業推進を強く働きかけるとともに、協力していく。

**▼2020東京五輪に向けた国分寺市の取組み**

【問】都と五輪組織委員会では、使用済み携帯電話等から抽出される金や銀を使って、大会の全てのメダルを製作すると決めた。国分寺市としてはどのように協力していくか?

【答】市内16施設に小型家電回収ボックスを設置し、本年10月末現在488台の携帯電話を回収。1台から金が約0.03g抽出でき、488台×0.03g = 14.64gの金の抽出に貢献した。※因みに金メダル製作には、約9,996gの金が必要と言われている。

**冬場のカーブミラー  
凍結対策を!**



国分寺政策市民フォーラム だて 淳一郎

**小・中学校の新学習指導要領について**

だて) 今回の改訂の目玉である、アクティブ・ラーニングについて準備状況、取組みを伺う。教育長) 各校内での教員研修を重ね、その研究成果を市内全体で共有する事に努めている。

だて) プログラミング教育について内容を伺う。教育長) パソコンを使っただけの授業という事だけでなく、物事を論理的に考えられる「プログラミング的思考」を育てていく。

**凍結して見えないカーブミラーについて**

だて) 寒くなるとカーブミラーが凍結し、交差点の様子が見えず歩行者も車も大変危険な状況がある。設置者として対策は何かないのか。

市) 他市の状況や業者にも確認したが、これといった対策はなかった。今後も研究する。

だて) 設置数が多いので、まず特に危険な箇所のピックアップを行い、対策を検討してほしい。

**Jアラートが聞こえない!**

11月14日にJアラートの全国一斉テストが行われた。室内の生活音の中だと、ほとんど聞こえないエリアがあり、万が一の有事の際に初動対応が遅れば生命にかかわる。どう考えるか。

市) Jアラートの音量については現状が最大音量である。防災行政無線の音が聞こえづらいエリアがあるのは認識しており、スピーカーの向きや数を増やすといった改善を検討していく。

**期日前投票について**

だて) 先般の衆院選の際に期日前投票が天候の関係で大混雑となった。期日前投票所の増設など今後の対応について伺う。また、ひかりプラザでの投票日の拡充を要望する。

市) 今回の件は教訓として今後に活かしていきたい。期日前投票所については施設・日数の増加など再来年の市議選に向け検討していきたい。

**市税の徴収について**

だて) 昨年私が提案し、導入をして頂いた市税を滞納したまま遠方に引っ越してしまった方への訪問対応委託について状況を伺う。

市) 昨年度から始めた遠隔地訪問調査委託であるが12件111万円の納付があった。納付以外にも様々な情報を得ることができ、その後の対応に効果が上がっている。継続していきたい。

